税の知識

贈与と税金

贈与税は、個人からその年中に六〇万円を超える財産をもらった人にかかる税金です。

そのほか個人から財産を著しく低い価額で譲り受けた場合や債務を免除してもらった場合や肩代わりしてもらった場合なども贈与税の課税対象となります。

また、親子や夫婦など特別な関係にある人との間の金銭の貸借でいわゆる「ある時払いの催促なし」とか「出世払い」のような金銭の貸借は、形式的には金銭の貸借になっていても、実質的に贈与と認められるものについては贈与税の課税対象となります。

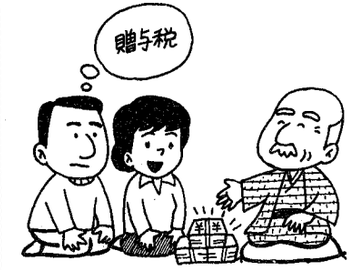
贈与税の計算は、その年中に贈与を受けた財産の価額から基礎控除を差し引いた残額に税率を掛け税額を算出します。

贈与税の控除には、六〇万円の基礎控除のほかに、最高一、〇〇〇万円の配偶者控除があります。

この配偶者控除は、婚姻期間が二〇年以上の夫婦間で行われる居住用不動産の贈与や居住用不動産を取得するための金銭の贈与の場合で一定の要件を満たせば受けることができますが、この控除は、一生に一度しか受けられません。

なお、親又は祖父母から、昭和五十九年一月一日から六十年十二月三十一日までの間に住宅取得資金の贈与を受けた場合で、一定の要件を満たせば五〇〇万円までの部分について五分五乗方式により贈与税を計算する特例があります。

贈与税の申告は、贈与を受けた年の翌年の二月一日から三月十五日までに、贈与を受けた人の住所地を所轄する税務署に申告しなければなりません。詳しくは最寄りの税務署・税務相談室へお尋ねください。



みんなで協力 きれいな郷土

ことしも「ふるさと運動」の一環として、廃品回収事業を、八月四日頃に実施いたします。集めるものとしては、新聞紙、雑誌、段ボール類が対象になります。又十九日は、中学生による廃品回収が行われますのでご協力下さい。

詳しくは、役場だよりでお知らせいたします。

今月の献立て

ピーチシャーベット

梅雨が明け、太陽が輝きを増すころは、桃の香りも味わいもひときわまさり、甘くなってくるときです。この季節のよく熟した桃をデザートの冷菓にどうぞ。ほんとの桃色と香りが楽しめるシャーベットはお勧め品。

材　料（4～6人分）

- ・桃（完熟）　2～3個・レモン汁　1個分
- ・砂糖　100g・ラム酒　大さじ2
- ・水　1カップ弱・卵白　1個分

作り方

①なべに水と砂糖を入れて焦がさないように煮立てる。砂糖が溶けたら火から下ろして冷ます（シロップ）
②桃は皮をそっとむき、半割りにして種を除く。
③桃は裏ごしにかけてピューレ状にする。
④ボールに裏ごしした桃、シロップ、レモン汁、ラム酒を入れてよく混ぜ合わせる。冷凍庫に約3時間入れて凍らせる。
⑤みぞれ状に凍ったら、フォークなどでかき混ぜて空気を含ませる。これを3時間ごとに2～3回繰り返す。
⑥最後に別器に卵白を堅く泡立てて⑤を少量ずつ加えてはよく混ぜ合わせる。ふたたび冷凍庫に入れて冷やし固める。

公民館だより

8月の事業計画

日	曜	事業名	会場
21	水	高齢者学級	月寿荘 午前10時
毎火曜	週	スポーツ少年団 柔道教室	西公民館 午後7時

保健福祉だより

8月の事業計画

日	曜	事業名	対象	会場
7	水	機能訓練（後遺症者の集い）	脳卒中及びその他の後遺症者	月寿荘
9	金	母と子の料理教室	小学生と母親	就業改善センター
21	水	糖尿病教室③	要管理者	就業改善センター
27	火	乳児検診と育児学級 S60年4月1日～S60年5月31日生 S59年10月1日～S59年11月30日生		月寿荘

❀クローバー教室

日	曜	機能訓練内容
❀7	水	習字・組ひも・ちぎり絵
❀20	火	習字　会場　月寿荘
27	火	習字・組ひも・ちぎり絵　時間　午後1時30分～

❀印当日はバスを運行します。

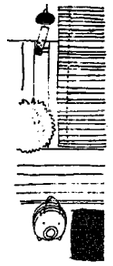
《家庭の健康》夏バテを防ぐには

夏バテを防ぐ対策としては、規則正しく**栄養のある食事**をとり、**適度に水分の補給**を行い、よく**睡眠をとって過労をさける**ことです。

夏は他の季節よりも朝食をきちんととるようにすべきです。少し早く起きて、量より質で食べます。食欲がわかないときは、香辛料を使ったり味つけや色どりを工夫してみましょう。

水分の補給も大切です。しかし、水をやたらにガブ飲みすると、胃が弱って消化を悪くするので逆効果。水分は、牛乳とか果汁やスープなどの形で補給するとよいでしょう。

暑さのために、どうしても睡眠不足になりがちですが、疲労の原因になります。規則正しい生活を心がけ、睡眠を十分にとる工夫が大切。睡眠不足を解消するには昼寝も効果的です。



あきつ俳壇

○遠蛙灯火一つの森の家　富代
○茅葺を田の面に映し杜若　同人
○竹の葉を打つ雨音や桜桃忌　和子
○塗り立ての壁つややかに青胡桃　同人
○青梅の落ちて窪みに止まりけり　同人
○ゆづられし木椅子に残る夏落葉　喜美
○嫁話ぽつぽつ祭来りけり　同人
○初なりの胡瓜の棘に刺されけり　靖子
○日焼止め忍ばせ船の女旅　同人
○船旅のメロンに添えし銀スプーン　同人
○落ち凧の紅を流して沈みけり　硯山
○菖蒲湯に首までひたる農休日　同人
○横向に雨の廂の蝉の殻　妙子
○前掛の紐のぼどけぬ薄暑から　同人
○踏切りに電車を止めし凧戦　羅春
○裏側に緑の残る地干し黍　同人
○昨夜研ぎし鎌のうす錆菜種梅雨　同人
◎凧戦果て青葦に風戻る　としこ

『評』男の意志がぶつかる勇壮な大凧合戦が終り観衆の去った後に何時も平静が戻ってくる。この様を「青葦に風戻る」と表現。季節感、写生のいきいきとした句である。